

2017 シーサーカップ (第10回)

第2回エナジックオープンゴルフトーナメント in 沖縄

開催日 2017年2月11日(土)～12日(火) 2日間
開催コース エナジック瀬嵩カントリークラブ

競技の条件

2017年度日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則と、この競技の条件・ローカルルールを適用する。本書に記載のない事項や追加変更がある場合は、競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

1. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄についてこの委員会の裁定は最終である。

2. 使用球の規格 (ゴルフ規則 177 ページ参照)

「公認球リストの条件・ゴルフ規則付 I (c) 1b」を適用する。

3. 使用クラブの規格

「適合ドライバーヘッドリストの条件・ゴルフ規則付 I (c) 1a」を適用する。(ゴルフ規則 176 ページ参照)

4. 競技終了時点

本予選競技においては競技委員会が作成した成績表がインフォメーションボードに掲示された時点をもって終了したものとみなす。

5. ホールとホール間での練習禁止 (規則 7-2 注 2)

「ゴルフ規則付 I (c) 5b」を適用する。(ゴルフ規則 181 ページ参照)

6. プレーの中断と再開

(1) プレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、ゴルフ規則 6-8b、c、dに従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間にいるときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならない。そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかった時は、ゴルフ規則 33-7 に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。

この条件の違反の罰は競技失格 (ゴルフ規則 6-8b 注)

(3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断：短いエアホーンを繰り返して通報する。またはエアホーンを使用せず本部より競技委員を通じて競技者に連絡する。

険悪な気象状況による即時中断：1回の長いエアホーンを鳴らして通報する。

プレーの再開：1回の長いエアホーンを鳴らして通報する。

7. ラウンド・移動

正規のラウンド・移動について男子の部・女子の部・ゴルフバックは乗用車に乗せて歩きでのラウンドになります。但し小学生の部はラウンド移動においてすべて乗用カート使用を認める。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズの境界は白線または白杭をもって標示する。
2. 修理地は青
3. 線をもってその限界を標示する。
4. ラテラル・ウォーターハザードは赤杭又は赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
5. 排水溝は動かさない障害物とする。
6. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。

注意事項

1. パッティンググリーン保護の為、メタルスパイクシューズ、及びタウン用シューズの使用を禁止する。
2. 練習は指定練習場にて行い、打放し練習場においては備え付けの球を使用し、スタート前の練習は1人30球を限度とする。
3. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないように注意すること。なお、プレーの進行を不当に遅らせた場合はペナルティを課す。
4. 9ホール終了後、プレーを遅らせなければ仮設大広場に立ち入ることができる。
5. スタートの呼出は一切行わないので、スタート時間10分前までにはスターティングホールに待機すること。
6. 競技前日の練習は、アウト・インともスタートを12時で打ち切る。
7. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断した競技者の参加資格を取り消すことができる。

競技委員長 宮城 盛幸